

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 9月号

1. 大山ブロッコリーのブランド力強化に取り組む

J A 鳥取西部大山ブロッコリー井戸端（サポート）会議は8月31日、大山町で2021年度総会を開いた。21年度事業報告や22年度事業計画などを承認。

大山ブロッコリーのさらなるブランド力の向上や販売力の強化などに向けて意見を交わした。21年度は、地域団体商標や地理的表示（G I）などを生かした販売体制の強化、料理研究会のレシピ考案やレシピ動画作成での消費宣伝活動、リモートシステムも活用しながら県内外の消費者との交流などに取り組んだ。



2. 3年ぶりの灯 万灯パレード

J A 鳥取西部青壮年部や同 J A 職員で構成される「J A 万灯会」は8月20日、「第49回米子がいな祭」の万灯パレードに参加し、地域農業をPRした。3年ぶりに米子駅前通りで行われた万灯パレードは、直前に大雨警報が発令され、6分間の一斉万灯で打ち切りとなったが、万灯を乗せる妙技を披露した。



3. 行政に要請書。資材高騰への支援を訴え

J A鳥取西部は8月2日から3日にかけて、肥料や燃料など生産資材の高騰に対する支援を、管内の2市6町1村に要請した。8月2日は、境港市長に要請書を手渡し、地元農業の現状や資材高騰による農家の不安や窮状などを訴え、同市に支援の取り組みなどを要請した。



以上